

卒後臨床研修センター・キャリア支援室だより

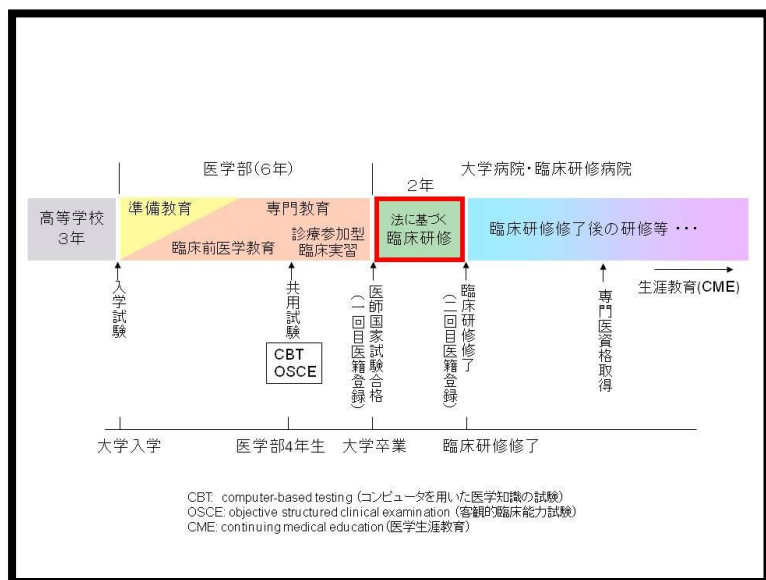
Vol 1, 2010. (4月号)

【今年も無事修了式を迎えました】



3月30日、臨床小講堂において研修医修了式が行われ、医科・歯科両研修医の先生たちが無事に臨床研修を修了しました。

現在、診療に携わる医師は、国家試験に合格し医師免許証取得（＝医籍登録）後、2年間広く各科にわたる臨床研修が義務付けられています。臨床研修を終えた医師は更に専門医取得等を目指し、それぞれが専門とする診療科での研鑽を積んでいくことになります。



卒後臨床研修センターでは、この日巣立っていった研修医の先生が今日も笑顔で後輩たちを見守っています。

佐賀の医療を担っていく若い医師たちの育成に向けて今後ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【新研修医、ただいまオリエンテーション中！】

4月1日、医師国家試験に合格した44名が佐賀大学医学部附属病院プログラムでの臨床研修を開始しました。うち1年目を県立病院好生館（2年目を佐賀大学）で研修開始する6名の先生を除いた38名の先生方に対し現在オリエンテーションを行っています。



患者さんの安全を守るため、防災システムの説明も穿刺のシミュレーションも非常に真剣なまなざしで参加中。

【佐賀県合同オリエンテーション】昨年にひきつづき本年度も佐賀県内の新研修医の先生が一堂に会しての合同オリエンテーションが4月5日に行われ、森岡泰彦・東京大学名誉教授による「医師の職業倫理とその実践」についてのご講演が行われました。



新研修医の先生もこれから頑張っていきます。今後よろしくお願いいたします。

(卒後臨床研修センター 担当 吉田)